



IPSiO SP3510SF

クイックガイド

各部の紹介

1

コピーのかんたんな使いかた

2

スキャナーのかんたんな使いかた

3

ファクスのかんたんな使いかた

4

用紙をセットするとき

5

困ったときには

6

紙づまりを取り除く

7

目次

	●コピーで使えるこんな機能	P1
	●スキャナーで使えるこんな機能	P3
	●ファクスで使えるこんな機能	P4
1	各部の紹介	
	●外観	P7
	●内部	P8
	●操作部	P9
2	コピーのかんたんな使いかた	
	●初期画面と基本的な使いかた	P11
	●便利なコピーのしかた	P13
3	スキャナーのかんたんな使いかた	
	●初期画面と基本的な使いかた	P16
	●読み取り方法を設定する	P21
4	ファクスのかんたんな使いかた	
	●初期画面と基本的なファクスの送りかた	P22
	●ワンタッチダイヤルを登録する	P25
	●読み取り方法を設定する	P27
5	用紙をセットするとき	
	●使用できる用紙の種類とサイズ	P28
	●給紙トレイに用紙をセットする	P29
	●手差しトレイに用紙をセットする	P32
	●普通紙以外の用紙について	P34
6	困ったときには	
	●操作部にメッセージが表示されたとき	P35
	●きれいに印刷や読み取りができない	P40
	●ファクスの送受信がうまくいかない	P41
7	紙づまりを取り除く	
	●本体内部 / トレイ 1 / トレイ 2 から紙づまりを取り除く	P42
	●手差しトレイから紙づまりを取り除く	P44
	●本体排紙口 / 両面ユニットから紙づまりを取り除く	P46
	●ADF から紙づまりを取り除く	P50
	●付録：消耗品について	P53
	●付録：どうしても解決しないとき	P54

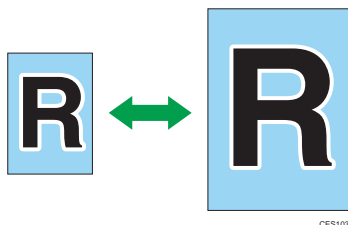
コピーで使えるこんな機能

快適!

拡大・縮小

本機では、異なる定形サイズの内紙に拡大・縮小しやすいように、原稿の拡大・縮小率があらかじめ設定されています。また手動で倍率を指定することもできます。

設定方法については、P.13「拡大・縮小してコピーする」を参照してください。



エコロジー

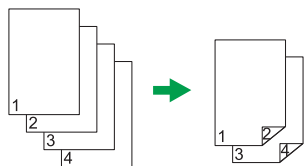
両面・集約

「両面」や「集約」を使うとコピー用紙を節約でき、書類を保管するスペースも減らせます。

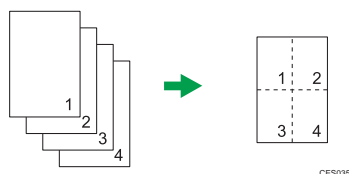
「両面」では用紙の両面にコピーでき、「集約」では複数の原稿を1枚にまとめてコピーできます。また、「両面」と「集約」を組み合わせるとコピーすることも可能です。

設定方法については、P.13「両面コピー / 集約コピーをする」を参照してください。

◆両面コピー



◆集約コピー



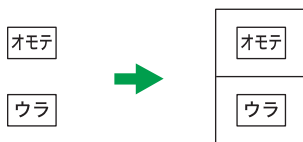
コピーで使えるこんな機能

快適!

ID カードコピー

用紙の片面に、ID カードなど小さな文書の表、裏の両面をコピーできます。

詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』③「用紙の片面に ID カードの両面をコピーする」を参照してください。



CHP020

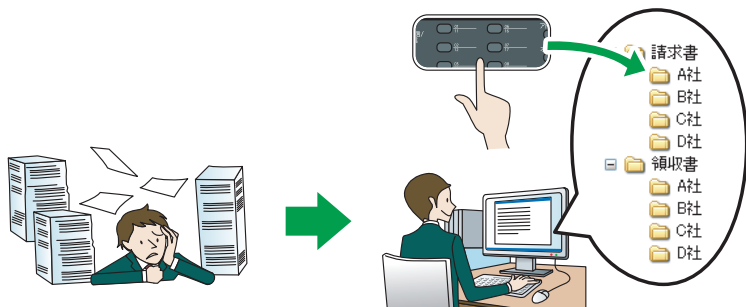
スキャナーで使えるこんな機能

快適!

読み取るだけで、整理が完了!

「フォルダー送信」は、本機で読み取った原稿をデータ化してパソコンのフォルダーに保存できる便利な機能です。読み取るだけで書類の整理が完了し、書類をファイリングする手間もかかりません!

詳しくは、『フォルダー送信設定ガイド』を参照してください。



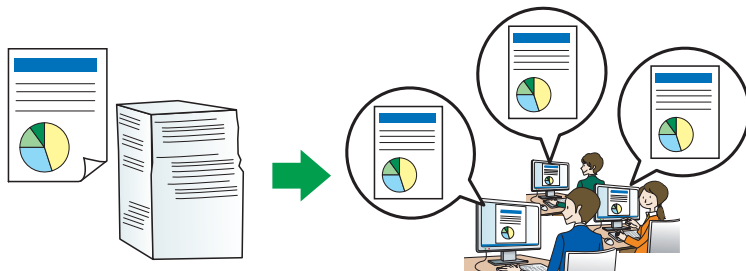
書類を紙で保管していると整理が大変、欲しい書類を探すのにも時間がかかります…

IPSIO から送りたいフォルダーを指定するだけのカンタン操作で、会社別 / 顧客別 / 日付別など、データを管理できます。

エコロジー

紙のコストを大幅ダウン!

会議の参加者に配る紙の資料をフォルダー送信機能でそれぞれのパソコンに送信! 紙のコストが削減でき、資料を配布する手間もかかりません!



会議で配る紙の資料は、ページ数や配布する人数が多いととても大変…

紙の資料を電子データにすれば、会議へ参加するメンバーのパソコンへカンタンに送信できます。

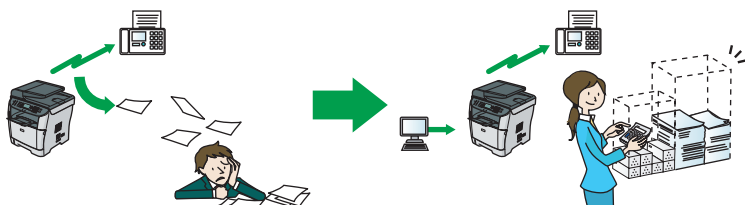
ファクスで使えるこんな機能

エコロジー

データのまま送信してペーパーレス！

PC ファクスドライバーを使えば、パソコンで作った原稿がダイレクトに送信できるので、原稿を紙に印刷しないで即送信！

詳しくは、『操作ガイド<ファクス機能編>』📄🔍「4. パソコンからファクス機能を活用する (PC ファクス)」を参照してください。



送信済み原稿を送信後に捨てる
だけなら紙がもったいない…

原稿を印刷せずにパソコンから送信で
けるので紙のコストがかかりません。

快適！

送信方法を使い分けて効率 UP ！



急いで原稿をデスクに持ち帰りたいときは「メモリー送信」、確実に相手を確認しながら送信したいときは「直接送信」と、TPOに合わせて送信方法を使い分ければ仕事の効率 UP が図れます。

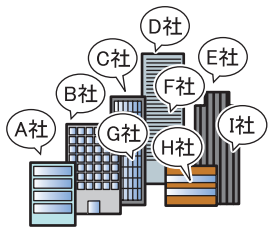
詳しくは、『操作ガイド<ファクス機能編>』📄🔍「送信モードを選択する」を参照してください。

快適!

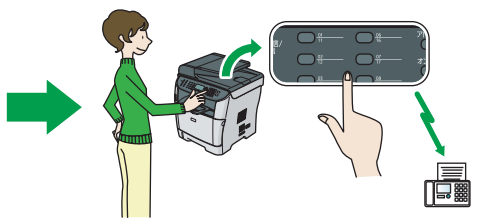
ワンタッチでらくらく送信!

あて先を登録すればワンタッチキーを押すだけで簡単に相手先指定!

詳しくは、『操作ガイド<ファクス機能編>』   「ファクスのあて先を登録する」を参照してください。



たくさんの取引先のファクス番号を取り扱うのは大変…



最大 220 件 (ワンタッチダイヤル 20 件および短縮ダイヤル 200 件) のあて先をアドレス帳に登録でき、簡単に相手先の指定ができます。

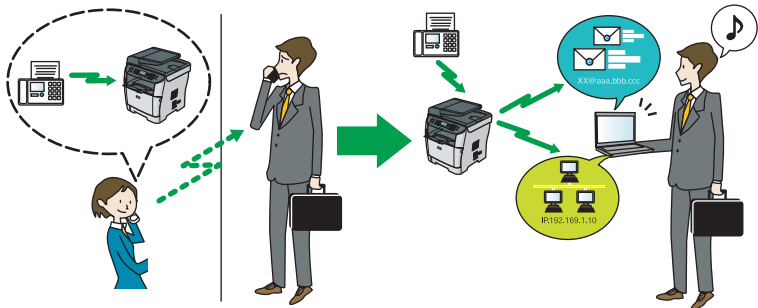
ファクスで使えるこんな機能

快適!

受信文書を転送してどこでも確認!

受信文書をメールやフォルダーに転送すれば、いつでもどこでもファクスを受け取れ、面倒なファイリングも不要。

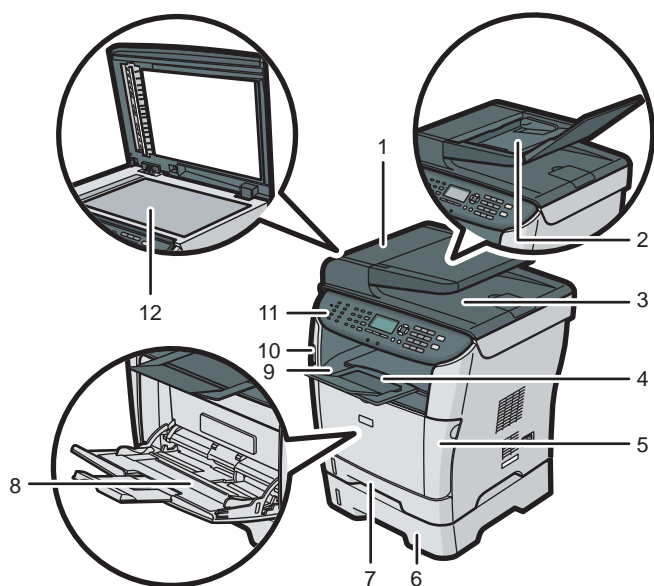
詳しくは、『操作ガイド<ファクス機能編>』📄📞「受信したファクスを転送する」を参照してください。



外出先ではファクスが受け取れないし、紙でもらった文書を持ち歩くのは大変…

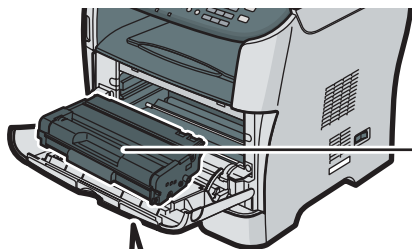
メールやフォルダーに転送すればパソコンで受信でき、外出中でも内容が確認できます。

外観



CMF352

- | | |
|--|---|
| <p>1 自動原稿送り装置 (ADF) カバー
ADF に原稿が詰まったときに、ADF カバーを開けて原稿を取り除きます。</p> | <p>6 250 枚増設トレイ (トレイ 2) オプション</p> |
| <p>2 ADF 給紙トレイ
カバーを開けて原稿をセットします。</p> | <p>7 トレイ 1</p> |
| <p>3 ADF 排紙トレイ
ADF にセットした原稿が排紙されます。</p> | <p>8 手差しトレイ
前カバーの前面を開けて使用します。</p> |
| <p>4 用紙ストッパー
このストッパーを上げて用紙が落ちるのを防ぎます。</p> | <p>9 排紙トレイ
印刷済みの用紙が排紙されます。</p> |
| <p>5 前カバー
トナーカートリッジを交換したり、紙づまりを取り除くときに、このカバーを開けます。</p> | <p>10 USB メモリー用のポート
スキャナーの USB メモリー送信機能を使うときに、USB メモリーを差し込みます。</p> |
| | <p>11 操作部</p> |
| | <p>12 原稿ガラス
原稿を 1 枚ずつセットします。</p> |

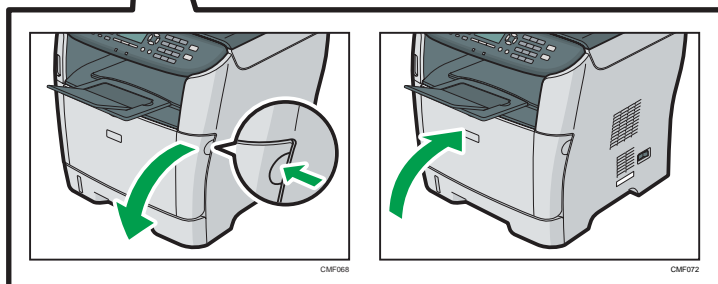


トナーカートリッジ

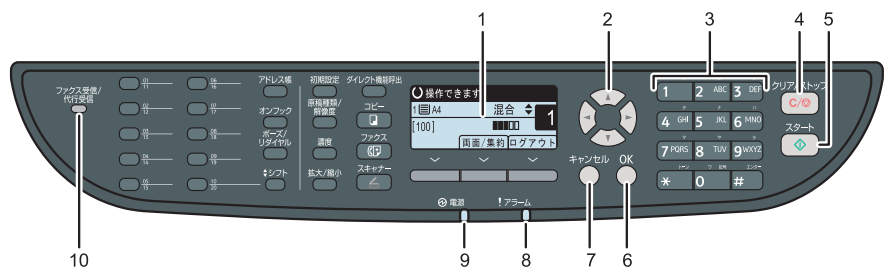
トナーカートリッジの交換や新しいトナーカートリッジの準備が必要なときには、画面にメッセージが表示されます。

CMF354

1



操作部



CME354

1 画面

本機の状態やメッセージが表示されます。

2 スクロールキー

カーソルを上下左右に移動させたり、設定値を増減させるときに使います。本機が待機状態のときに [◀] [▶] を押すと、選択中の機能（コピー、スキャナー、ファクス）に関する設定を変更するメニューを表示します。

3 テンキー

ファクス番号や印刷部数などを指定するときに数字を入力したり、名前を指定するときに文字を入力したりします。

4 【クリア/ストップ】キー

- ジョブの処理中：ジョブをキャンセルします。
- 設定中：設定をキャンセルして待機状態に戻ります。
- 待機中：濃度や解像度など、一時的な設定をキャンセルします。

5 【スタート】キー

コピーやスキャン、またはファクスの送信を開始します。

6 【OK】キー

設定や設定値を確定させるとき、または下位の階層に移動するときに押します。

7 【キャンセル】キー

設定を有効にせずに上位の階層に戻るとき、メニューから通常の表示に戻るときに押します。

8 アラームランプ

消耗品の交換など、本機の保守が必要となるときに、黄色で点滅します。本機にエラーが発生したときは赤色で点灯します。

エラーが発生したときは、画面に表示されたメッセージを確認し、P.35「操作部にメッセージが表示されたとき」を参照して対処してください。

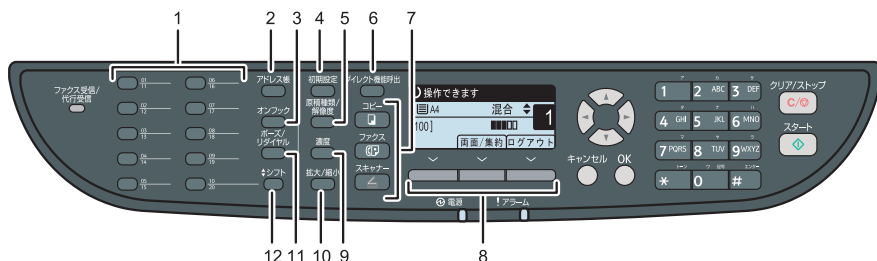
9 電源ランプ

本機の電源が入っているときに点灯します。電源が入っていないときは消灯します。

10 ファクス受信 / 代行受信ランプ

受信したファクスがメモリーに保存されているときに点灯します。トナー切れや紙づまりなどでファクスを印刷できないときは点滅します。

操作部



CME355

1 | ワンタッチキー

アドレス帳に登録されたワンタッチダイヤルのあて先を選択します。

2 | [アドレス帳] キー

ファクスやスキャンしたファイルを送信するときに、アドレス帳からあて先を指定します。

3 | [オンフック] キー

ファクスを送信する際に、オンフックダイヤル機能を使ってあて先の通信状態を確認します。

4 | [初期設定] キー

本機の初期設定を変更するメニューを表示します。

5 | [原稿種類 / 解像度] キー

コピーで原稿の種類を設定したり、スキャナー / ファクスで解像度を設定したりします。

6 | [ダイレクト機能呼出] キー

このキーにあらかじめ設定された機能呼び出します。

詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー / プリンター / スキャナー機能編>』④「管理者用設定」を参照してください。

7 | [スキャナー] / [ファクス] / [コピー] キー

本機のモードをそれぞれの機能に切り替えます。

8 | 選択キー

画面下部に表示された項目を選ぶときに押します。

9 | [濃度] キー

コピー / スキャナー / ファクスで、濃度を設定します。

10 | [拡大 / 縮小] キー

コピーで拡大・縮小を設定したり、スキャナーで読み取りサイズを設定します。

11 | [ポーズ / リダイアル] キー

- ・ポーズ：ファクス番号にポーズを挿入します。
- ・リダイアル：前回使用したスキャナー / ファクスのあて先を呼び出します。

12 | [シフト] キー

ワンタッチキーを使うときに、01 ~ 10番と11 ~ 20番を切り替えます。

初期画面と基本的な使いかた

この画面は、本機がコピーモードのときの初期画面です。



1. 本機の状態やメッセージを表示します。
2. コピーの設定を表示します。
3. 選択キーを押して使用できる機能を表示します。
4. コピーの部数を表示します。

★重要

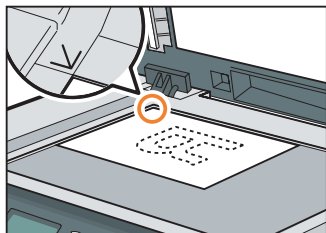
- ADFと原稿ガラスの両方に原稿がセットされているときは、ADFの原稿が優先されます。
- 印刷品質の低下や紙づまりを防ぐために、ステープラーの針・クリップ・付せんがついた原稿、貼り合わせた原稿、修正液やインクが完全に乾いていない原稿は使用しないでください。
- LDAP認証が設定されているときは、ログインユーザー名とログインパスワードを入力して、本機にログインしてください。詳しくは、CD-ROM収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑥「LDAP認証が設定されているとき」を参照してください。

1 [コピー] キーを押します。

2 ADFでコピーする場合は原稿の読み取り面を上にしてADFにセットし、原稿ガラスでコピーする場合は原稿の読み取り面を下にして原稿ガラスにセットします。

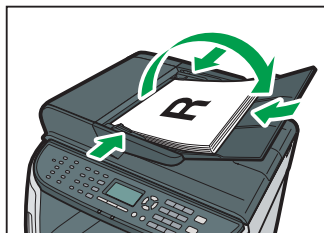
ADFを上げるときは、ADF給紙トレイを持たないでください。ADFが破損する場合があります。

原稿ガラス



CMF048

ADF



CMF351

↓補足

- 必要に応じて、コピー方法を設定してください。詳しくは、P.13「便利なコピーのしかた」を参照してください。

3 複数の部数をコピーするときは、テンキーでコピーする部数を入力します。

↓補足

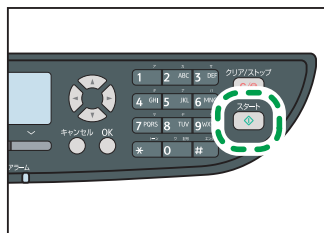
- 一度にコピーできる部数は、最大で99部です。

初期画面と基本的な使いかた

4 【スタート】キーを押します。

本機の設定によっては、原稿ガラスでコピーをしている場合は、「うら面をセットして下さい」と画面に表示されます。

- 原稿の裏面をコピーしたい場合は、次の手順に進んでください。
- コピーを終了したい場合は、[#] を押してください。コピーが排紙されます。



CME020

5 原稿ガラスの原稿を表裏反対にセットし直して、【スタート】キーを押します。

両面コピーが排紙され、「おもて面をセット」と画面に表示されます。

- もう一度原稿の表面をコピーしたい場合は、原稿ガラスの原稿を表裏反対にセットし直して、手順 4 に戻ってください。
- コピーを終了したい場合は、[#] を押してください。

↓ 補足

- コピーを中止するには、[コピー] キーを押して、[クリア/ストップ] キーを押し、確認画面で [はい] を押します。
- [▲] [▼] キーを押して、印刷用のトレイを一時的に変更できます。用紙サイズ (A4 か Letter) を選択すると、指定の用紙を含むトレイを自動的に選択します。
- [手動両面原稿読取モード] が有効の場合は、原稿ガラスを使って原稿の両面を読み取って、両面コピーを作ることができます。この機能を使う場合は、[両面/集約] を押して [手動両面原稿読取モード] を選択します。[手動両面原稿読取モード] を本機の初期設定にするには、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「コピー機能初期設定」を参照してください。
- 「うら面をセットして下さい」、または「おもて面をセット」と画面に表示された状態のまま一定時間が経過すると、コピーは自動的に終了します。
- 紙づまりが起きたときは印刷が停止します。紙づまりが解消されると、つまったページから印刷が再開されます。
- ADF で紙づまりが起きたときは、コピーはキャンセルされます。この場合は、つまったページからコピーをやり直してください。

目 参照

- 紙づまりを取り除くには、P.42「紙づまりを取り除く」を参照してください。
- 使用できる原稿について詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「原稿について」を参照してください。

便利なコピーのしかた

❖ 拡大・縮小してコピーする

拡大・縮小の倍率を設定する方法を説明します。

倍率の設定には、固定の倍率を選択する方法と、手動で倍率を指定する方法があります。

1. [拡大 / 縮小] キーを押します。
2. [拡大]、[縮小]、または [ズーム] を押します。
3. [拡大] か [縮小] の場合は、[▲] [▼] [◀] [▶] キーを押して倍率を選びます。
[ズーム] の場合は、テンキーで倍率を指定します。
4. [OK] キーを押します。

❖ 両面コピー / 集約コピーをする

複数のページ (2 ページまたは 4 ページ) を 1 ページに集約してコピーしたり、原稿の両面を読み取って片面コピーや両面コピーをしたりする方法について説明します。

★重要





- この機能は、ADF でコピーするときのみ使用できます。原稿ガラスでコピーするときは使用できません。
- 両面 / 集約コピーに使用できる用紙のサイズは、A4、Letter、または Legal です。
- 両面コピーに使用できる用紙の種類は、薄紙、普通紙、再生紙、色紙、レターヘッド、印刷済み紙、パンチ済み紙、または厚紙 1 です。
- 原稿とコピーの用紙サイズが一致していない場合、印刷面に余白が多くなるなど、思い通りの結果にならない場合があります。
- 常に両面 / 集約でコピーしたい場合は、コピー初期設定の [両面 / 集約] で設定を変更できます。

以下の図は両面 / 集約コピー設定の例です。お使いの原稿と、お望みの仕上がりに合わせて設定を選択して下さい。

より詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー / プリンター / スキャナー機能編>』

②「両面コピー / 集約コピーをする」を参照してください。







集約コピーの例

	原稿	コピー
タテ		
ヨコ		

CME004

便利なコピーのしかた

両面コピーの例

	原稿	コピー	
タテ		左右ひらき 	上から下 
ヨコ		左右ひらき 	上から下 

CM017

以下の手順に従って、両面 / 集約コピーを設定します。

1. [両面 / 集約] を押します。
[ダイレクト機能呼出] キーに両面 / 集約コピー呼び出し機能が設定されている場合は、[ダイレクト機能呼出] キーを押します。
2. [▲] [▼] キーを押してコピーの設定を選び、[OK] キーを押します。
3. 用紙の向きとじ方向の選択が必要な場合は、[↑] [↓] キーを押して選択し、[OK] キーを押します。
選択したコピーの設定が画面に表示されます。

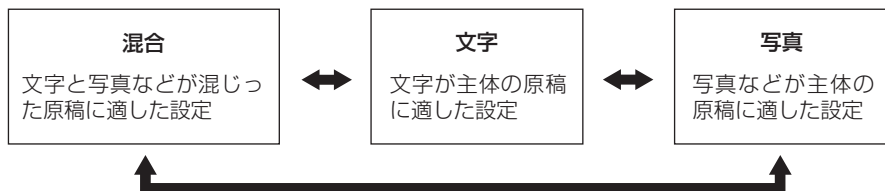
目 参照

- [ダイレクト機能呼出し設定] について詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー / プリンター / スキャナー機能編>』④「管理者用設定」を参照して下さい。

❖ 原稿の読み取り方法を選択する

原稿の種類に合わせて、最適な読み取り方法を選択できます。

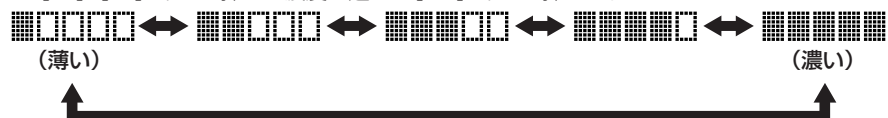
1. [原稿種類 / 解像度] キーを押します。
2. [▲] [▼] キーを押して読み取り方法を選び、[OK] キーを押します。



❖ 濃度を調整する

濃度を調整する方法を説明します。

1. [濃度] キーを押します。
2. [◀] [▶] キーを押して濃度を選び、[OK] キーを押します。



☰ 参照

- コピー機能について詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「コピー機能を使う」を参照してください。
- ご使用の状況に合わせて、本機の初期設定を変更できます。詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「操作部で設定する」を参照してください。

初期画面と基本的な使いかた

この画面は、本機がスキャナーモードのときの初期画面です。



1. 本機の状態やメッセージを表示します。
2. 読み取りの設定を表示します。
3. 選択キーの項目を表示します。

- 「宛先を指定」と表示されているとき
メール送信 / FTP 送信 / フォルダー送信機能が使えます。
- 「読取データを USB に保存」と表示されているとき
本機に USB メモリーが差し込まれていて、USB メモリー送信機能が使えます。

★重要

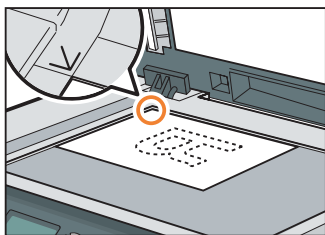
- USB メモリーが差し込まれていると、USB メモリー送信以外のスキャン操作はできません。
- スキャナーのあて先は、Web Image Monitor を使って、あらかじめ登録しておく必要があります (USB メモリー送信のあて先は登録する必要ありません)。詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー / プリンター / スキャナー機能編>』④「スキャナーのあて先を登録する」を参照してください。
- メールでファイルを送るには、あらかじめ SMTP と DNS の設定をしておく必要があります。詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー / プリンター / スキャナー機能編>』④「Web Image Monitor を使って設定する」を参照してください。
- 重要な書類を送信する場合は、事前に受信者と確認しておくことをお勧めします。
- 市販されているすべての USB メモリーで動作を保障するものではありません。
- ADF と原稿ガラスの両方に原稿がセットされているときは、ADF の原稿が優先されます。
- 印刷品質の低下や紙づまりを防ぐために、ステープラーの針・クリップ・付せんがついた原稿、貼り合わせた原稿、修正液やインクが完全に乾いていない原稿は使用しないでください。
- LDAP 認証が設定されているときは、ログインユーザーネームとログインパスワードを入力して、本機にログインしてください。詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー / プリンター / スキャナー機能編>』④「LDAP 認証が設定されているとき」を参照してください。
- USB メモリー送信機能は、本機の初期設定で無効になっている場合があります。詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー / プリンター / スキャナー機能編>』④「管理者用設定」を参照してください。

❖ E メール送信 / FTP 送信 / フォルダー送信をする

- 1** ADF でスキャンする場合は、原稿の読み取り面を上にして ADF にセットし、原稿ガラスでスキャンする場合は、原稿の読み取り面を下にして原稿ガラスにセットします。

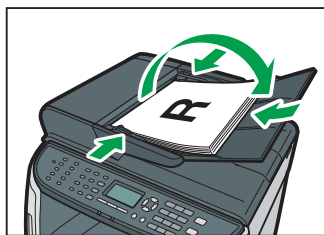
ADF を上げるときは、ADF 給紙トレイを持たないでください。ADF が破損する場合があります。

原稿ガラス



CMF048

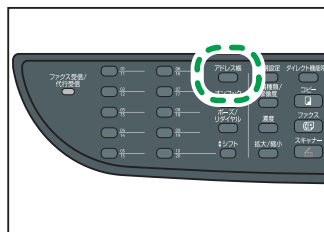
ADF



CMF351

- 2** [スキャナー] キーを押し、[アドレス帳] キーを押します。

[ダイレクト機能呼出] キーにスキャナーのあて先呼び出し機能が設定されている場合は、[ダイレクト機能呼出] キーを押します。



CME029

- 3** [▲] [▼] キーを押して [アドレス帳検索] を選び、[OK] キーを押します。

目的のあて先を名前で検索する場合は、名前をテンキーで入力して、[OK] キーを押します。文字を入力していくと、一致するあて先が画面に表示されます。

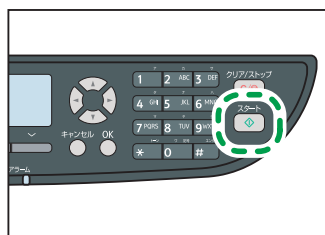
- 4** [▲] [▼] キーであて先を検索し、[OK] キーを押します。

あて先を指定すると、アドレス帳に登録された内容に従って、読み取り方法の設定が自動的に変わります。この設定は、必要に応じて操作部で変更できます。

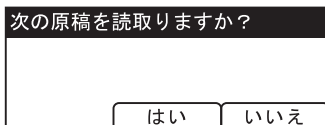
3

初期画面と基本的な使いかた

5 [スタート] キーを押します。



本機の設定によっては、原稿ガラスでスキャンをしていると右の画面が表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。



6 追加原稿がある場合は、次の原稿を原稿ガラスにセットしてから [はい] を押します。この手順を繰り返して、すべての原稿を読み取ってください。

7 すべての原稿を読み取ったら、[いいえ] を押してファイルを送信します。

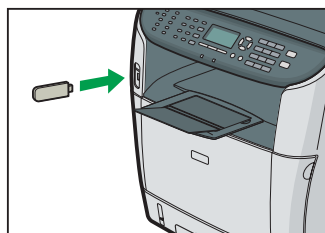
3

❖ USB メモリーに送信する

⚠ 注意

- USB メモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って USB メモリーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

1 USB メモリーを USB メモリー用のポートに差し込みます。



↓ 補足

- USB メモリーは、本機のポートに直接差し込んでください。USB ハブなどではご使用になれません。

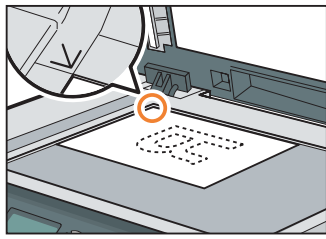
2 [スキャナー] キーを押します。

画面に「読み込み中」と表示されます。「読取データを USB に保存」と表示されるまでお待ちください（表示されるまでの時間は、USB メモリーによって異なります）

3 ADF でスキャンする場合は、原稿の読み取り面を上にして ADF にセットし、原稿ガラスでスキャンする場合は、原稿の読み取り面を下にして原稿ガラスにセットします。

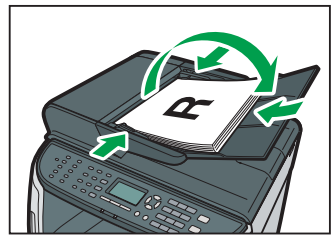
ADF を上げるときは、ADF 給紙トレイを持たないでください。ADF が破損する場合があります。

原稿ガラス



CMF048

ADF



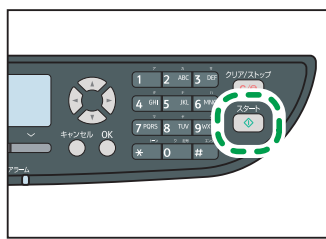
CMF351

補足

- 必要に応じて、読み取り方法を設定してください。詳しくは、P.21「読み取り方法を設定する」を参照してください。

4 [スタート] キーを押します。

本機の設定によって、次の画面が表示されます。



CMC030

モノクロのとき：

ファイル形式を選択：

TIFF	PDF
------	-----

カラー / グレースケールのとき：

ファイル形式を選択：

JPEG	PDF
------	-----

初期画面と基本的な使いかた

5 ファイル形式に応じた選択キーを押します。

本機の設定によっては、原稿ガラスでスキャンをしていると右の画面が表示されます。この画面が表示されたら、手順6に進んでください。それ以外の場合は、手順8に進んでください。

次の原稿を読み取りますか？

はい いいえ

6 追加する原稿がある場合は、次の原稿を原稿ガラスにセットしてから【はい】を押します。この手順を繰り返し、すべての原稿を読み取ってください。

7 すべての原稿を読み取ったら、【いいえ】を押してファイルを送信します。

8 画面に「操作できます」と表示されるまでお待ちください。

スキャンしたファイルは、USBメモリーの一番上の階層に保存されます。

9 USBメモリーを本機から取り外します。

↓ 補足

- スキャンを中止するには、[スキャナー] キーを押して、[クリア/ストップ] キーを押します。スキャンを中止すると、スキャンしたファイルは破棄されます。
- スキャナー初期設定の「読み取りモード」で、スキャンの方法を白黒、カラー、またはグレースケールから選択できます。詳しくは、CD-ROM収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「スキャナー機能初期設定」を参照してください。
- ADFで紙づまりが発生した場合は、スキャンはキャンセルされます。紙づまりを取り除き、原稿の読み取りをやり直してください。

目 参照

- ADFでつままった用紙を取り除くには、P.47「ADFから紙づまりを取り除く」を参照してください。
- ワンタッチキーか[ポーズ/リダイヤル]キーを使って、あて先を指定することもできます。詳しくは、CD-ROM収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「スキャナー機能を使う」を参照してください。
- 使用できる原稿について詳しくは、CD-ROM収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「原稿について」を参照してください。

読み取り方法を設定する

❖ 解像度を設定する

解像度を調整する方法を説明します。

1. [原稿種類 / 解像度] キーを押します。
2. [▲] [▼] [◀] [▶] キーを押して解像度を選び、[OK] キーを押します。

❖ 濃度を調整する

濃度を調整する方法を説明します。

1. [濃度] キーを押します。
2. [◀] [▶] キーを押して濃度を選び、[OK] キーを押します。



❖ 読み取りサイズを設定する

原稿のサイズに合わせて読み取りサイズの設定をする方法を説明します。

1. [拡大 / 縮小] キーか [読取サイズ] を押します。
2. [▲] [▼] キーを押して読み取りサイズを選び、[OK] キーを押します。
不定形の読み取りサイズを指定するには、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー / プリンター / スキャナー機能編>』④「原稿のサイズに合わせて読み取りサイズを設定する」を参照してください。

❖ 原稿の読み取り面を指定する

ADF を使用すると、原稿の両面を自動的に読み取りできます。

1. [原稿] を押します。
2. [▲] [▼] キーを押して目的の読み取り方法を選び、[OK] キーを押します。
片面を読み取りするか、両面を読み取るかを選択します。両面を読み取る場合は、原稿にあわせて用紙の向きと同じ方向を選択して下さい。

E 参照

- パソコンから本機を操作してスキャンする方法 (TWAIN スキャナー) や、その他のスキャナー機能について詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー / プリンター / スキャナー機能編>』④「スキャナー機能を使う」を参照してください。
- ご使用の状況に合わせて、本機の初期設定を変更できます。詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー / プリンター / スキャナー機能編>』④「操作部で設定する」を参照してください。

初期画面と基本的なファクスの送りかた

この画面は、本機がファクスモードのときの初期画面です。



1. 本機の状態やメッセージを表示します。
2. 読み取りの設定を表示します。
3. 選択キーの項目を表示します。
4. 現在の日時を表示します。

CME200

★重要

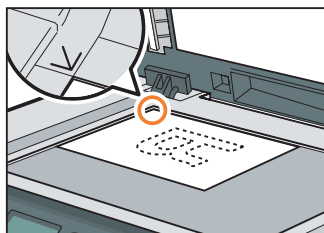
- あらかじめ本機に電話線を接続し、ファクス送信に関する設定をしておく必要があります。
- ADFと原稿ガラスの両方に原稿がセットされているときは、ADFの原稿が優先されます。
- 重要な書類を送信する場合は、事前に受信者と確認しておくことをお勧めします。
- 印刷品質の低下や紙づまりを防ぐために、ステープラーの針・クリップ・付せんがついた原稿、貼り合わせた原稿、修正液やインクが完全に乾いていない原稿は使用しないでください。
- LDAP認証が設定されているときは、ログインユーザーネームとログインパスワードを入力して、本機にログインしてください。詳しくは、CD-ROM収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「LDAP認証が設定されているとき」を参照してください。

1 【ファクス】キーを押します。

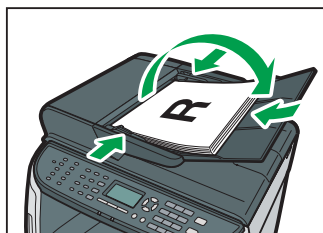
2 ADFを使う場合は、原稿の読み取り面を上にしてADFにセットし、原稿ガラスを使う場合は、原稿の読み取り面を下にして原稿ガラスにセットします。

ADFを上げるときは、ADF給紙トレイを持たないでください。ADFが破損する場合があります。

原稿ガラス



ADF



↓ 補足

- 必要に応じて、読み取り方法を設定してください。詳しくは、P.27「読み取り方法を設定する」を参照してください。

3

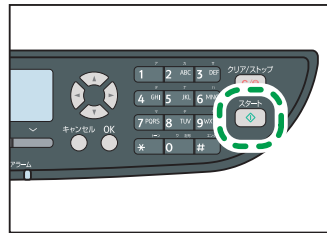
テンキーを使ってあて先のファクス番号（最大 40 桁）を入力するか、番号が登録されているワンタッチキーを押します。

- ワンタッチキーの 01 ～ 10 番と 11 ～ 20 番を切り替えるには[シフト]キーを押します。
- テンキーで番号を入力するとき、本機が PBX を経由して電話回線に接続されている場合は、外線発信番号を入力してください。

4

【スタート】キーを押します。

- 本機の設定によっては、番号の再入力を求められます。30 秒以内に番号を再入力して [OK] を押し、【スタート】キーを押してください。入力した番号が一致しなかったら、手順 3 に戻ります。
- 本機の設定によっては、原稿ガラスに追加する原稿があるかないかを確認するメッセージが画面に表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。



5

追加の原稿がある場合は、60 秒以内に【はい】を押し、原稿ガラスに原稿をセットしてから、【OK】を押します。この手順を繰り返し、すべての原稿を読み取ってください。

60 秒以内に【はい】が押されなかった場合は、本機はあて先へのダイヤルを開始します。

6

すべての原稿を読み取ったら、【いいえ】を押してファクスを送信します。




4

初期画面と基本的なファクスの送りかた

補足

- ファクスの送信を中止するには、[ファクス] キーを押して、[クリア/ストップ] キーを押します。
- ファクス番号には、0～9までの数字、ポーズ、「*」、「#」、およびスペースが使用できます。
- 必要に応じて、ファクス番号にポーズを入れてください。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。
- パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「*」を入れます。「*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できるようになります。
- ADFで紙づまりが起きた場合、つまったページは正しく読み取られていません。直接送信モードだった場合は、つまったページから送信し直してください。メモリー送信モードだった場合は、すべてのページを送信し直してください。

参照

- 紙づまりを取り除くには、P.42「紙づまりを取り除く」を参照してください。
- ワンタッチキーにワンタッチダイヤルを登録する方法については、P.25「ワンタッチダイヤルを登録する」を参照してください。
- あて先は、短縮ダイヤル、リダイヤル、またはLDAPサーバーから検索して指定することもできます。また、複数のあて先に対して同報送信することも可能です。詳しくは、『操作ガイド<ファクス機能編>』④「ファクス機能を使う」を参照してください。
- 本機は、ファクスを送信した後、自動的に送信レポートを印刷するように初期設定されています。この設定を変更するには、『操作ガイド<ファクス機能編>』⑤「ファクス機能初期設定」を参照してください。
- 使用できる原稿について詳しくは、CD-ROM収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑥「原稿について」を参照してください。

ワンタッチダイヤルを登録する

ワンタッチキーにワンタッチダイヤルを登録する方法について説明します。

1 【初期設定】 キーを押します。

2 [▲] [▼] キーを押して【アドレス帳】を選び、[OK] キーを押します。

補足

- パスワードの入力画面が表示された場合は、管理者の方に登録を依頼してください。

3 [▲] [▼] キーを押し、【ワンタッチキー宛先】を選び、[OK] キーを押します。

4 [▲] [▼] キーを押して【No.】を選び、ワンタッチダイヤルの番号（1～20）を入力します。

5 [▲] [▼] キーを押して【Fax No.】を選び、ファクス番号（最大40桁）を入力します。

0～9までの数字、ポーズ、「*」、「#」、およびスペースが使用できます。

6 [▲] [▼] キーを押して【名前】を選び、あて先名（半角英数字 / 半角カナで最大20文字）を入力します。

文字、数字、記号が使用できます。漢字・ひらがなは入力できません。

7 設定を確認してから [OK] キーを押します。

8 【初期設定】 キーを押して初期画面に戻ります。

参照

- 短縮ダイヤルを登録する方法については、『操作ガイド<ファクス機能編>』の「ファクスのあて先を登録する」を参照してください。

ワンタッチダイヤルを登録する

❖ 文字を入力する

文字の入力にはテンキーを使用します。

テンキー	キーを押す回数																																	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32		
1	ア	イ	ウ	エ	オ	アイ	ウエ	オ	1																									
2	カ	キ	ク	ケ	コ	A	B	C	a	b	c	2																						
3	サ	シ	ス	セ	ソ	D	E	F	d	e	f	3																						
4	タ	チ	ツ	テ	ト	G	H	I	g	h	i	4																						
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	j	k	l	5																						
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	M	N	O	m	n	o	6																						
7	マ	ミ	ム	メ	モ	P	Q	R	S	p	q	r	s	7																				
8	ヤ	ユ	ヨ	ヤ	ユ	ヨ	T	U	V	t	u	v	8																					
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	W	X	Y	Z	w	x	y	z	9																				
0	ワ	ヲ	ン	0	-	.	!	"	,	;	:	^	`	_	=	/		'	?	\$	@	%	&	+	()	[]	{	}	<	>		
*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	#	

AZZ006S

- 文字を入力する
入力したい文字が表示されるまでテンキーを繰り返し押します。
同じテンキーで入力する文字が2つ続くときは、最初の文字を入力したあとに [▶] キーを押してから次の文字を入力します。
- スペースを入力する
[▶] キーを押します。
- 文字を削除する
[◀] キーを押します。

↓ 補足

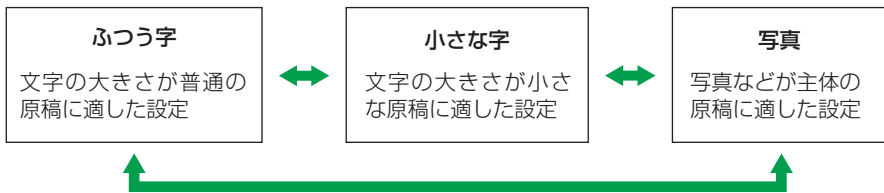
- 漢字・ひらがなは入力できません。
- 文字がすでに入力制限桁数に達している場合は、それ以上の文字の入力はできません。

読み取り方法を設定する

❖ 解像度を設定する

解像度を調整する方法を説明します。

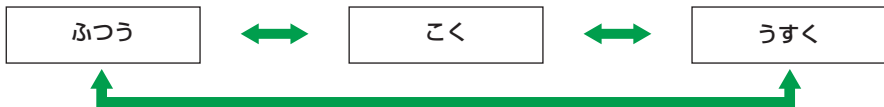
1. [原稿種類 / 解像度] キーを押します。
2. [▲] [▼] キーを押して解像度を選び、[OK] キーを押します。



❖ 濃度を調整する

濃度を調整する方法を説明します。

1. [濃度] キーを押します。
2. [▲] [▼] キーを押して濃度を選び、[OK] キーを押します。



❖ 原稿の読み取り面を指定する

ADF を使用すると、原稿の両面を自動的に読み取りできます。

★ 重要

- この機能は、直接送信モードでは使用できません。
1. [原稿] を押します。
 2. [▲] [▼] キーを押して目的の読み取り方法を選び、[OK] キーを押します。
片面を読み取りするか、両面を読み取りするかを選択します。両面を読み取る場合は、原稿にあわせて用紙の向きと同じ方向を選択して下さい。

📖 参照

- ファクス機能について詳しくは、『操作ガイド<ファクス機能編>』📖🔍「ファクス機能を使う」を参照してください。
- ご使用の状況に合わせて、本機の初期設定を変更できます。詳しくは、『操作ガイド<ファクス機能編>』📖🔍「操作部でファクスの設定をする」を参照してください。

使用できる用紙の種類とサイズ

★重要

- 用紙はサイズにかかわらず、すべて縦方向 (□) にセットしてください。

トレイ 1

用紙の種類	セットできる用紙サイズ
薄紙 普通紙 厚紙 1 厚紙 2 再生紙 色紙 印刷済み紙 パンチ済み紙 レターヘッド ボンド紙 カードストック ラベル紙	<ul style="list-style-type: none"> 定形サイズ： A4、B5、A5、B6、A6、郵便はがき、往復はがき 海外向けサイズ： Legal、Letter、$5\frac{1}{2} \times 8\frac{1}{2}$、$7\frac{1}{4} \times 10\frac{1}{2}$、$8 \times 13$、$8\frac{1}{2} \times 13$、$8\frac{1}{4} \times 13$ 不定形サイズ： 幅 100～216mm、長さ 148～356mm

250 枚増設トレイ (トレイ 2) : オプション

用紙の種類	セットできる用紙サイズ
薄紙 普通紙 厚紙 1 再生紙 色紙 印刷済み紙 パンチ済み紙 レターヘッド	<ul style="list-style-type: none"> 定形サイズ A4、B5、A5 海外向けサイズ Legal、Letter、$5\frac{1}{2} \times 8\frac{1}{2}$

手差しトレイ

用紙の種類	セットできる用紙サイズ
薄紙 普通紙 厚紙 1 厚紙 2 再生紙 色紙 印刷済み紙 パンチ済み紙 レターヘッド ボンド紙 カードストック ラベル紙 OHP フィルム 封筒	<ul style="list-style-type: none"> 定型サイズ： A4、B5、A5、B6、A6、郵便はがき、往復はがき 海外向けサイズ： Legal、Letter、$5\frac{1}{2} \times 8\frac{1}{2}$、$7\frac{1}{4} \times 10\frac{1}{2}$ 不定形サイズ： 幅 90～216mm、長さ 140～356mm

給紙トレイに用紙をセットする

トレイ 1 と 250 枚増設トレイ (トレイ 2) への用紙のセット方法は同じです。ここではトレイ 1 を例に説明します。

★重要

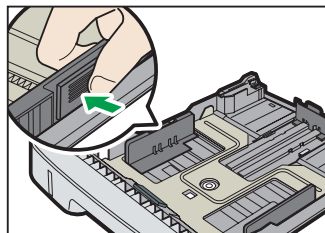
- セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。紙づまりの原因になることがあります。
- 封筒以外の用紙に印刷するときは、印刷する前に本機の背面カバーを開け、封筒レバーが左右両方とも上がっていることを確認して下さい。レバーが下がった状態で封筒以外の用紙に印刷すると、きれいに印刷できない場合があります。
- 用紙をセットしたら、操作部で用紙の種類とサイズを設定してください。本機は用紙のサイズを自動的に検知しないため、設定を行わないと正しく印刷ができない場合があります。
- 不定形サイズの用紙をセットしたときは、操作部とプリンタードライバーで用紙の縦と横 (長さ と 幅) の長さを設定してください。
- 1 つのトレイに、異なる種類の用紙を混在させないでください。
- トレイは必ず水平に入れてください。斜めに入れると故障の原因になります。
- サイドガイドまたはエンドガイドを無理に動かさないでください。故障の原因になります。
- カール (反り) のある用紙は紙づまりの原因となります。トレイにセットする前に用紙反りを直してください。

1 給紙トレイをゆっくりと引き出し、途中から両手で持って引き抜きます。

引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。

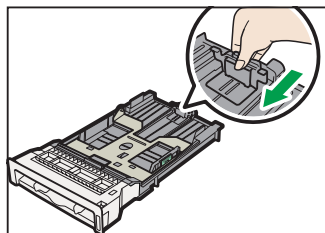
2 サイドガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。

不定形サイズの用紙をセットするときは、サイドガイドを実際用の紙サイズよりも少し広くしてください。



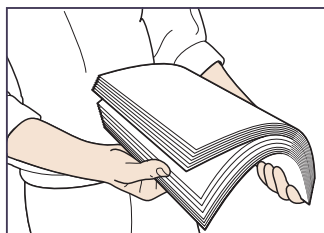
3 エンドガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。

不定形サイズの用紙をセットするときは、エンドガイドを実際用の紙サイズよりも少し広くしてください。



給紙トレイに用紙をセットする

- 4** 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。



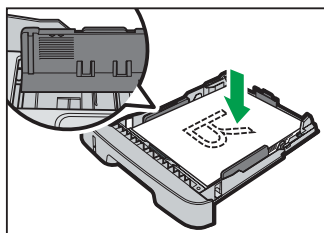
CBK254

- 5** 新しい用紙をそろえ、印刷する面を下にしてセットします。

セットする用紙の量は、給紙トレイの内側にある上限表示を超えないようにしてください。

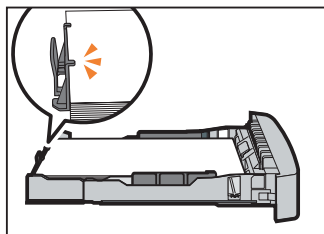
サイドガイドと用紙の間にすき間がある場合は、サイドガイドをセットした用紙の幅に合わせて調整してください。

セットする用紙の量は、サイドガイドの突起を超えないようにしてください。



CMC050

- 6** 用紙とエンドガイドの間にすき間がないことを確認します。



CMC052

- 7** 給紙トレイを水平に差し込み、レールに沿ってゆっくりと押し込みます。

紙づまりを防ぐため、きちんとトレイを閉めてください。

- 8** 操作部で、用紙種類と用紙サイズを設定します。

☰ 参照

- トレイにセットできる用紙については、P.28「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。
- トレイ1にA4よりも長い用紙をセットするときは、CD-ROM収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑤「A4よりも長い用紙をセットする」を参照してください。
- 用紙サイズ、用紙種類の設定についての詳細は、CD-ROM収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑤「用紙種類・用紙サイズを設定する」を参照してください。

手差しトレイに用紙をセットする

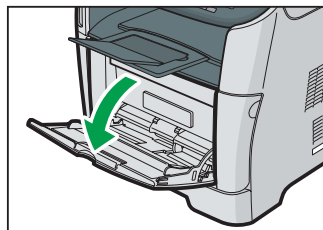
手差しトレイに用紙をセットする方法を説明します。

★重要

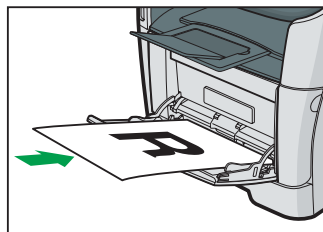
- 手差しトレイでは、用紙が斜めに給紙されたり、印刷開始位置がずれることがあります。
- 封筒以外の用紙に印刷するときは、印刷する前に本機の背面カバーを開け、封筒レバーが左右両方とも上がっていることを確認して下さい。レバーが下がった状態で封筒以外の用紙に印刷すると、きれいに印刷できない場合があります。
- 用紙をセットしたら、操作部で用紙の種類とサイズを設定して下さい。本機は用紙のサイズを自動的に検知しないため、設定を行わないと正しく印刷ができない場合があります。
- 不定形サイズの用紙をセットしたときは、操作部とプリンタードライバーで用紙の縦と横（長さとお幅）の長さを設定して下さい。
- 用紙は、印刷面を上にしてタテ方向にセットして下さい。
- 本機に給紙トレイがセットされていない状態では印刷できません。
- 用紙がカールしている場合は、一度カールしている方向と逆方向へ曲げるなどして、カールを直してからセットして下さい。
- 動作中に用紙をセットしないでください。

1 手差しトレイを開けます。

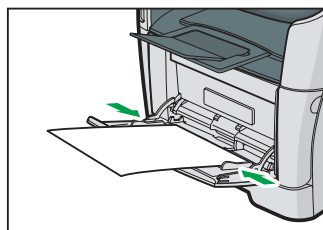
A4 よりも長いサイズの用紙をセットするときは、手差しトレイの延長ガイドを伸ばして下さい。



2 用紙ガイドを開いて、印刷面を上にして用紙をセットし、奥に当たるまで差し込みます。



3 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。



4

操作部で、用紙種類と用紙サイズを設定します。

☒ 参照

- 手差しトレイにセットできる用紙については、P.28「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。
- 用紙サイズ、用紙種類の設定についての詳細は、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑧「用紙種類・用紙サイズを設定する」を参照してください。

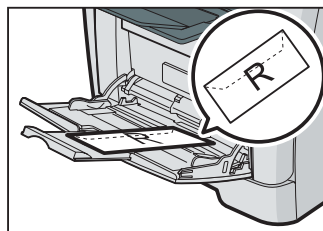
5

普通紙以外の用紙について

本機は普通紙以外に、さまざまな種類の用紙が使えます。ここでは、封筒、郵便はがき、ラベル紙について説明します。

封筒

- 手差しトレイから給紙可。両面印刷不可。
- プリンタードライバーと操作部で、封筒のサイズを設定してください。
- フラップが開いている封筒は開いたまま、フラップが閉じている封筒は閉じたまま印刷してください。
- 封筒の種類や環境によっては、シワが発生するなど、正しく印刷されないことがあります。長辺側にフラップがある封筒のときに正しく印刷できなかった場合は、封筒を反対方向にセットし、プリンタードライバーで印刷画像を180度回転して印刷してください。短辺側にフラップがある封筒の場合は、別の封筒をお使いください。



CMF045

郵便はがき

- 用紙サイズをはがきに設定すると、はがきの印刷に適した用紙種類の設定が自動的に選択されます。このため、用紙種類を設定する必要はありません。
- 給紙トレイ（トレイ1）手差しトレイから給紙可。両面印刷不可。
- インクジェットプリンター専用はがき、私製はがき（絵はがきなどの厚いはがき、他のプリンターで一度印刷したはがき、表面加工されているはがき等）は使用しないでください。故障の原因になります。
- セットする前に、郵便はがきをさばいて端をそろえてください。
- 郵便はがきを何枚も印刷すると、大量の紙粉が内部に付着します。こまめな清掃を心掛けてください。

手差しトレイに用紙をセットするとき

封筒のフラップ（ふた）の位置により、セット方向が変わります。短辺側にフラップがある場合は、フラップを手前にして、印刷画像を180度回転して印刷してください。長辺側にフラップがある封筒の場合は、フラップを機器に向かって左側にして、印刷画像を回転せずに印刷してください。

ラベル紙

- 給紙トレイ、手差しトレイから給紙可。両面印刷不可。
- 糊面がはみ出したり、台紙が見えたりしていない物を使用してください。

目 参照

- 用紙に関する注意や保管、使用できない用紙については、CD-ROM収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「用紙について」を参照してください。
- 用紙のセット方法や不定形サイズの設定については、CD-ROM収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「用紙をセットする」を参照してください。
- 本機では、グリーン購入法適合用紙、「マイリサイクルペーパー100」が使用できます。その他各種用紙の情報については、リコーホームページ (<http://www.ricoh.co.jp/office/supply/>) を確認するか、購入窓口にお問い合わせください。

操作部にメッセージが表示されたとき

"○○"の部分は、用紙のサイズや種類、トレイの名前など、状況に応じて異なる表示がされる部分を表します。

以下の表に記載されていないメッセージについては、CD-ROM収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑤「操作部にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

メッセージ (アルファベット/50音順)	原因	対処方法
ADF 原稿づまり ADF カバーを開けて 用紙を取り除いてく ださい	ADF 内部で原稿が つまっています。	<ul style="list-style-type: none"> ・つまった原稿を取り除いて、セットしなおしてください。P.47「ADF から紙づまりを取り除く」を参照してください。 ・使用している原稿が本機で読み取り可能なものか確認してください。CD-ROM収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』⑤「自動原稿送り装置 (ADF) にセットできない原稿」を参照してください。
USB 接続に失敗しま した クリアキーを押して ください	USB メモリー送信 が完了する前に USB メモリーが抜 けたため、USB メ モリー送信に失敗 しました。	USB メモリーは本機にしっ かりと差し込んで下さい。操 作部に「操作できます」と表 示されるまで、USB メモリー を抜かないでください。
USB メモリーオー バー クリアキーを押して ください	USB メモリーの空 き容量が不足して、 USB メモリー送信 に失敗しました。	空き容量が十分な USB メモ リーを使ってください。
宛先が登録されていま せん	このワンタッチキー には、番号が登録さ れていません。	<ul style="list-style-type: none"> ・別のワンタッチキーを押してください。 ・ワンタッチキーに番号を登録してください。P.25「ワンタッチダイヤルを登録する」を参照してください。

操作部にメッセージが表示されたとき

メッセージ (アルファベット/50音順)	原因	対処方法
カートリッジセット不良	トナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていません。	トナーカートリッジをセットしなおしてください。
書き込み禁止 クリアキーを押してください	USBメモリーへのアクセスが正常に行われず、USBメモリー送信に失敗しました。	パスワードの設定や書き込みの制限がされていないUSBメモリーを使ってください。
紙づまり：機器内部	本機内部で紙づまりが発生しています。	つまった用紙を取り除いてください。 P.42「紙づまりを取り除く」を参照してください。
紙づまり：手差しトレイ	手差しトレイで紙づまりが発生しています。	つまった用紙を取り除いてください。 P.42「紙づまりを取り除く」を参照してください。
紙づまり：トレイ1	トレイ1の給紙口で紙づまりが発生しています。	つまった用紙を取り除いてください。 P.42「紙づまりを取り除く」を参照してください。
紙づまり：トレイ2	トレイ2の給紙口で紙づまりが発生しています。	つまった用紙を取り除いてください。 P.42「紙づまりを取り除く」を参照してください。
紙づまり：本体トレイ	本機の排紙部で紙づまりが発生しています。	前カバーを開けて紙づまりの位置を確認し、つまった用紙を取り除いてください。 P.42「紙づまりを取り除く」を参照してください。
紙づまり：両面ユニット 取り除いてください	両面ユニットで紙づまりが発生しています。	前カバーを開けて紙づまりの位置を確認し、つまった用紙を取り除いてください。 P.42「紙づまりを取り除く」を参照してください。

メッセージ <small>(アルファベット/50音順)</small>	原因	対処方法
カバーオープン	カバーが開いています。	カバーをしっかりと閉じてください。
交換してください： カートリッジ	トナーが空になっています。	トナーカートリッジを交換してください。
使用できないUSBハブです 取り外してください	USBメモリー以外のUSB機器が接続されていたか、対応していない形式でフォーマットされたUSBメモリーが接続されていたため、USBメモリー送信に失敗しました。	本機の機能と互換性のあるUSBメモリーを使ってください。
使用できない装置です クリアキーを押してください	USBメモリー以外のUSB機器が接続されていたか、対応していない形式でフォーマットされたUSBメモリーが接続されていたため、USBメモリー送信に失敗しました。	本機の機能と互換性のあるUSBメモリーを使ってください。
使用できない装置です 取り出してください	USBメモリー以外のUSB機器が接続されていたか、対応していない形式でフォーマットされたUSBメモリーが接続されていたため、USBメモリー送信に失敗しました。	本機の機能と互換性のあるUSBメモリーを使ってください。

操作部にメッセージが表示されたとき

メッセージ (アルファベット/50音順)	原因	対処方法
ファイル作成に失敗しました クリアキーを押してください	USBメモリーの空き容量が不足して、USBメモリー送信に失敗しました。	空き容量が十分なUSBメモリーを使ってください。
ファイルにアクセス失敗 クリアキーを押してください	USBメモリーへのアクセスが正常に行われず、USBメモリー送信に失敗しました。	パスワードの設定や書き込みの制限がされていないUSBメモリーを使ってください。
ファクスジョブ：メモリーオーバー	送信や印刷待ちのファクスの件数が最大に達しているため、新しいファクスがメモリーに蓄積できません。	待機中のジョブを送信、印刷してください。
メモリーオーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタードライバーの[印刷品質]タブで、[解像度]を[1200 × 600 dpi]にして蓄積した機密印刷文書を印刷しようとした場合、印刷がキャンセルされる場合があります。 ・印刷データが大きすぎるか、複雑すぎます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の機密印刷文書を印刷するか削除した後に、印刷できなかった機密印刷文書を印刷し直してください。または、[解像度]を[600 × 600 dpi]に設定してから機密印刷文書をもう一度蓄積し、印刷をし直してください。 ・[印刷品質]タブの[解像度]を[600 × 600 dpi]に設定してから、印刷をやり直してください。
メモリーオーバー送信 取り消し	メモリー送信モードでファクスを送信しようとしたとき、原稿の2ページ目以降を読み取っている間にメモリーが一杯になりました。	メモリーへの読み込みが終了したページのみを送信するには[送信]を、送信を中止するには[取り消し]を押してください。

メッセージ (アルファベット/50音順)	原因	対処方法
もうすぐ交換： カートリッジ	トナーカートリッジ が残りわずかです。	新しいトナーカートリッジを 用意してください。
用紙サイズ確認	設定した用紙のサイ ズが、トレイの用紙 のサイズと異なって います。	[強制印刷] を押して印刷を 始めるか、または [印刷取 消] を押してジョブをキャン セルします。
用紙種類確認	設定した用紙の種 類が、トレイの用紙 の種類と異なってい ます。	[強制印刷] を押して印刷を 始めるか、または [印刷取 消] を押してジョブをキャン セルします。
用紙なし：○○	トレイの用紙がなく なりました。	トレイに用紙をセットして ください。CD-ROM収録の『 操作ガイド<コピー/プリン ター/スキャナー機能編>』 ⑤「用紙をセットする」を 参照してください。

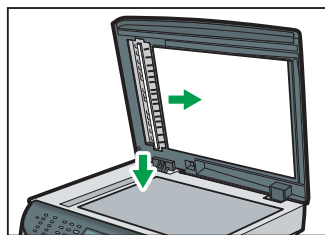
きれいに印刷や読み取りができない

❖ **印刷結果やスキャン結果が、濃すぎたり薄すぎたりする**
濃度が高すぎるか、低すぎます。濃度を調節してください。

❖ **コピーした紙やスキャンしたファイルに汚れがある**
原稿のインクや修正液が乾燥していません。原稿を原稿ガラスに置く前に、インクや修正液が乾いているか確認してください。

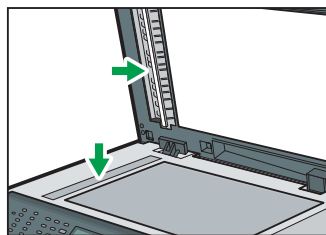
❖ **コピーやスキャンをするたびに、同じ部分が汚れる**
原稿ガラス、または ADF が汚れています。原稿ガラスと ADF を清掃してください。矢印の箇所を水にぬらしたやわらかい布で拭き、その後乾拭きをして水気を十分に取ってください。詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー / プリンター / スキャナー機能編>』④「本機を清掃する」を参照してください。

原稿ガラス



CMF093


ADF




CMF094

ファクスの送受信がうまくいかない


❖ ファクスの送受信ができない

モジュラーケーブルが外れているかもしれません。モジュラーケーブルが正しく接続されているか確認してください。詳しくは、『操作ガイド<ファクス機能編>』④「電話回線に接続する」を参照してください。



❖ 送信はできるが受信ができない

- ・トナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。
- ・用紙切れなどの理由で印刷できない状態になっています。トレイに用紙をセットしてください。詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「用紙をセットする」を参照してください。


❖ 白紙で送信される

原稿の裏と表が反対にセットされています。正しくセットしなおしてください。詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「原稿をセットする」を参照してください。

❖ 受信したファクスが印刷できない

- ・トレイ 1（標準）に A4、Letter、Legal サイズの用紙が入っていません。トレイの設定を変更して、適切なサイズの用紙をセットしてください。詳しくは、『操作ガイド<ファクス機能編>』④「ファクス機能初期設定」を参照してください。
- ・用紙切れなどの理由で印刷できない状態になっています。トレイに用紙をセットしてください。詳しくは、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』④「用紙をセットする」を参照してください。

❖ 間違いファクスやいたずらファクスが届く

特定の相手先からのファクスだけを受信したり、または拒否したりできます。間違いファクスやいたずらファクスで用紙をむだに使うことを防止したいときに便利です。詳しくは、『操作ガイド<ファクス機能編>』④「特定の相手先からのファクスを制限する」を参照してください。

本体内部 / トレイ 1 / トレイ 2 から紙づまりを取り除く

「紙づまり：機器内部」、「紙づまり：トレイ 1」、「紙づまり：トレイ 2」が画面に表示されたら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

⚠ 注意

- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。
- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹸水でよく洗い流してください。
- 紙づまりを取り除くときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

★重要

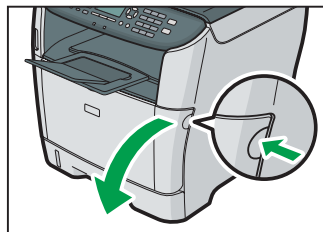
- つまった用紙には、トナーが付着していることがあります。手や衣服などに触れると汚れますのでご注意ください。
- 紙づまりを取り除いた直後は、印刷面のトナーが溶けたり、にじんだりすることがあります。トナー汚れがなくなるまで、テストページを印刷してください。
- つまった紙を無理に引き出さないようにしてください。破れることがあります。内部に紙片が残っていると、紙づまり再発の原因となり、本機が破損する恐れがあります。

1 トレイ 1 を途中まで引き出して紙づまりを確認し、紙があったらゆっくり取り除きます。

2 トレイ 1 をゆっくりと元に戻します。

3 手差しトレイに紙がセットされていたら紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。

4 前カバーの横のボタンを押して、ゆっくりと前カバーを開けます。

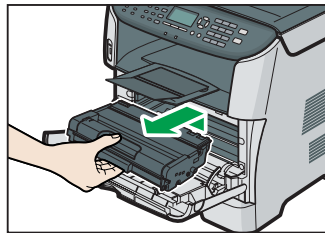


CMF066

5

トナーカートリッジを、中央の取っ手を持ってゆっくと水平に引き出します。

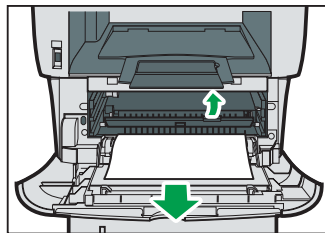
- 取り出したトナーカートリッジは振らないでください。トナーが飛び散る可能性があります。
- 床等を汚さないよう、古いトナーカートリッジは紙の上等に置いてください。



CMF069

6

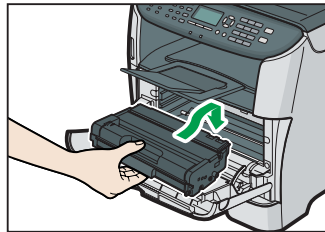
ガイド板を持ち上げて、紙をゆっくと取り除きます。



CMF070

7

トナーカートリッジを水平に差し込み、突き当たったら少し持ち上げて、ゆっくと最後まで差し込みます。その後、トナーカートリッジを下に押し、しっかりと固定します。



CMF071

8

前カバーを両手でゆっくと閉じます。

↓ 補足

- トレイ 1 は引き抜かないでください。
- 250 枚増設トレイ (トレイ 2) で紙づまりが発生し、位置を特定しにくいときは、トレイ 2 を引き出して用紙を取り除いてください。紙づまりを取り除いた後、トレイ 2 をゆっくと戻します。
- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

7

手差しトレイから紙づまりを取り除く

「紙づまり：手差しトレイ」が画面に表示されたら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

⚠ 注意

- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。
- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹸水でよく洗い流してください。
- 紙づまりを取り除くときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

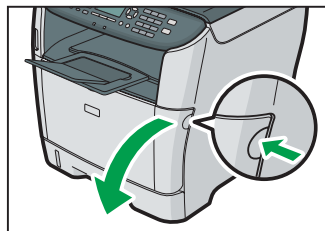
★ 重要

- つまった用紙には、トナーが付着していることがあります。手や衣服などに触れると汚れますのでご注意ください。
- 紙づまりを取り除いた直後は、印刷面のトナーが溶けたり、にじんだりすることがあります。トナー汚れがなくなるまで、テストページを印刷してください。
- つまった紙を無理に引き出さないようにしてください。破れることがあります。内部に紙片が残っていると、紙づまり再発の原因となり、本機が破損する恐れがあります。

1 手差しトレイの給紙口で紙がつまっていたら、ゆっくりと取り除きます。

2 手差しトレイを閉めます。

3 前カバーの横のボタンを押して、ゆっくりと前カバーを開けます。

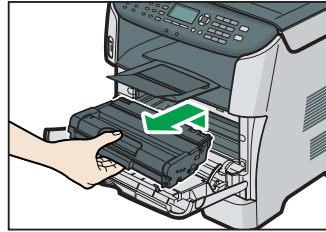


CMF066

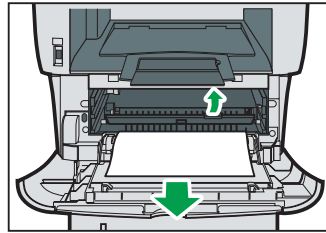
4

トナーカートリッジを、中央の取っ手を持ってゆっくりと水平に引き出します。

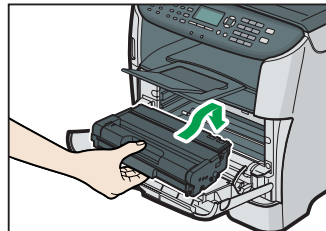
- 取り出したトナーカートリッジは振らないでください。トナーが飛び散る可能性があります。
- 床等を汚さないよう、古いトナーカートリッジは紙の上等に置いてください。

**5**

ガイド板を持ち上げて、紙をゆっくりと取り除きます。

**6**

トナーカートリッジを水平に差し込み、突き当たったら少し持ち上げて、ゆっくりと最後まで差し込みます。その後、トナーカートリッジを下に押し、しっかりと固定します。

**7**

前カバーを両手でゆっくりと閉じます。

補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

7

本体排紙口 / 両面ユニットから紙づまりを取り除く

「紙づまり：本体トレイ」、「紙づまり：両面ユニット 取り除いてください」が画面に表示されたら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

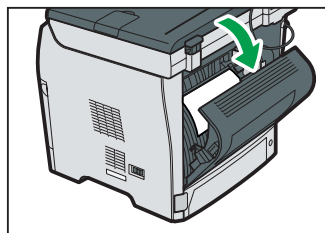
⚠ 注意

- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。
- 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹸水でよく洗い流してください。
- 紙づまりを取り除くときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

★ 重要

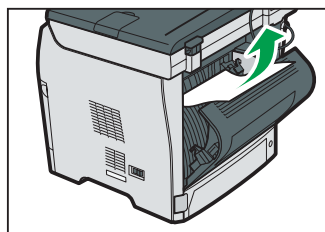
- つまった用紙には、トナーが付着していることがあります。手や衣服などに触れると汚れますのでご注意ください。
- 紙づまりを取り除いた直後は、印刷面のトナーが溶けたり、にじんだりすることがあります。トナー汚れがなくなるまで、テストページを印刷してください。
- つまった紙を無理に引き出さないようにしてください。破れることがあります。内部に紙片が残っていると、紙づまり再発の原因となり、本機が破損する恐れがあります。

1 背面カバーを開けます。



CMF074

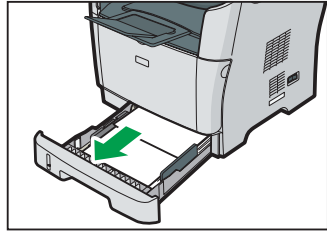
2 紙をゆっくりと取り除きます。



CMF075

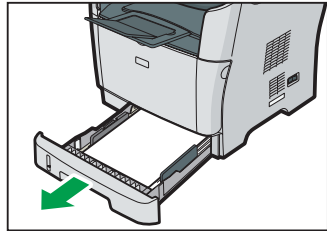
3 背面カバーを閉めます。

4 トレイ 1 を途中まで引き出して紙づまりを確認し、紙があったらゆっくり取り除きます。



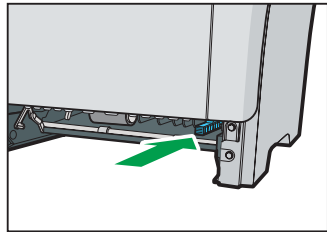
CMF067

5 両手でトレイを持って、完全に引き出します。
引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。



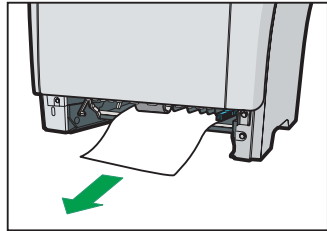
CMF077

6 レバーを押します。
レバーを押すと、内部のユニットが下がってきます。



CMF078

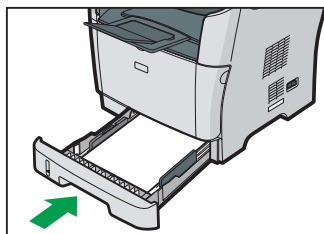
7 紙がつまっていたら、ゆっくりと取り除きます。



CMF079

本体排紙口 / 両面ユニットから紙づまりを取り除く

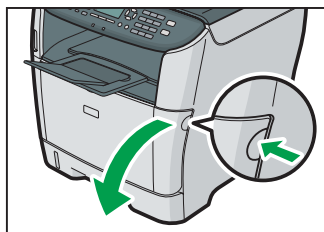
- 8** 内部のユニットが下がったままの状態、トレイ 1 を元に戻します。



CMF080

- 9** 手差しトレイに紙がセットされていたら紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。

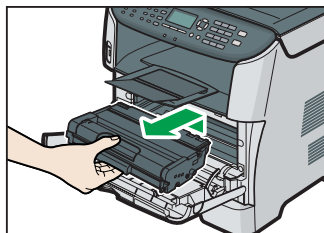
- 10** 前カバーの横のボタンを押して、ゆっくりと前カバーを開けます。



CMF088

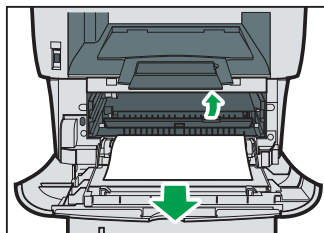
- 11** トナーカートリッジを、中央の取っ手を持ってゆっくりと水平に引き出します。

- 取り出したトナーカートリッジは振らないでください。トナーが飛び散る可能性があります。
- 床等を汚さないよう、古いトナーカートリッジは紙の上等に置いてください。



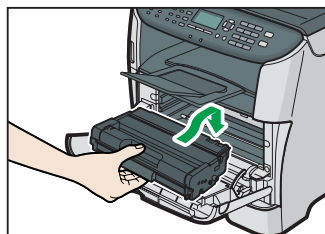
CMF089

- 12** ガイド板を持ち上げて、紙をゆっくりと取り除きます。



CMF070

- 13** トナーカートリッジを水平に差し込み、突き当たったら少し持ち上げて、ゆっくりと最後まで差し込みます。その後、トナーカートリッジを下に押し、しっかりと固定します。



CMF071

- 14** 前カバーを両手でゆっくりと閉じます。

補足

- 前カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

ADF から紙づまりを取り除く

ADF で紙づまりが発生すると、以下のメッセージが表示されます。
「ADF 原稿づまり ADF カバーを開けて用紙を取り除いてください。」
以下の手順に従って ADF につまった原稿を取り除いてください。

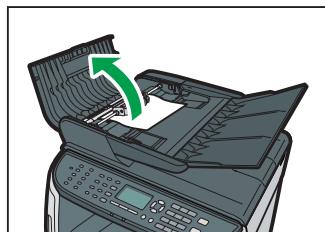
⚠ 注意

- 紙づまりを取り除くときは、指をはさんだり、けがをしないように注意してください。

★重要

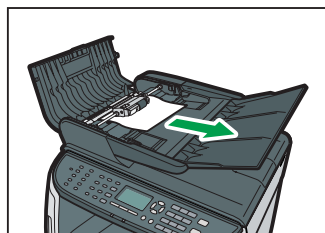
- つまった紙を無理に引き出さないようにしてください。破れることがあります。内部に紙片が残っていると、紙づまり再発の原因となり、本機が破損する恐れがあります。

1 ADF カバーを開けます。



2 つまった原稿をゆっくりと引いて取り除いてください。

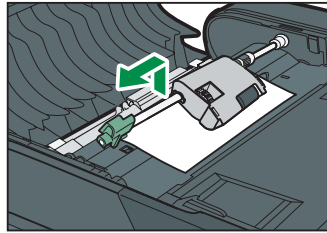
原稿を強く引っ張らないでください。破れる恐れがあります。



3 つまった用紙を簡単に取り出せない場合は、レバーを奥側へ少しずらしてから上げて、給紙ローラーのロックを解除します。

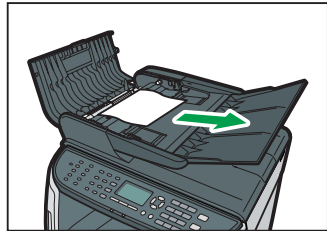


4 レバーを少しずらして給紙ローラーを外し、ゆっくり取り外します。



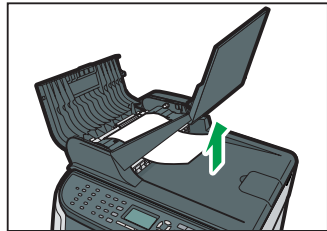
CMF116

5 つまった原稿をゆっくりと引いて取り除きます。



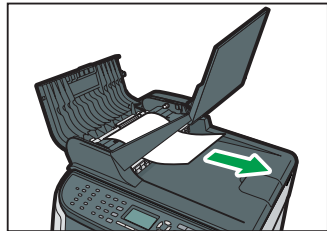
CMF085

6 つまった用紙を簡単に取り除けない場合は、給紙トレイを上げ、排紙口付近に用紙がつかまっていないか確認します。



CMF086

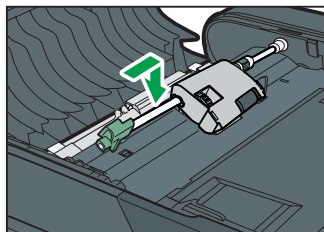
7 つまった原稿をゆっくりと引いて取り除きます。



CMF087

ADF から紙づまりを取り除く

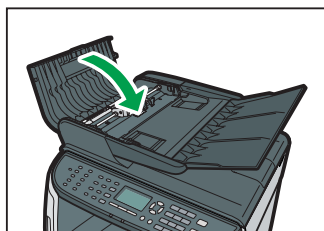
- 8** 給紙ローラーのローラー部分を下に
向け、先端を本体の切りかきに合わせて挿入し、元の位置に戻します。



- 9** レバーを ADF カバー側に回し、給紙
ローラーをロックします。

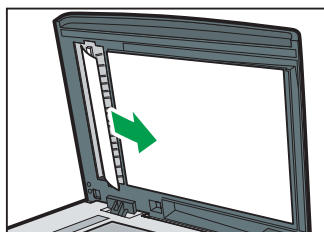


- 10** ADF カバーを閉じます。

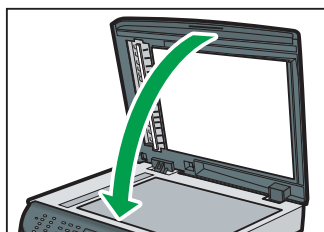


- 11** ADF を持ち上げ、原稿がまだ残っ
ている場合は、つまった紙をゆっくり
と引き出してください。

ADF を上げるときは、ADF 給紙トレイ
を持たないようにしてください。トレイ
の損傷の原因になります。



- 12** ADF を閉じます。



付録：消耗品について

消耗品の交換方法について

消耗品の交換方法は、新品に添付されている交換手順書をご覧ください。

消耗品のご購入について

消耗品のご購入については、本機をお買い上げの販売店へご連絡ください。または、インターネットで簡単にご注文できる、便利な NetRICOH をご利用ください。



消耗品一覧

本製品に対応する純正トナーカートリッジは、通常のトナーと環境貢献トナーの2種類あります。

商品名 (通常のトナー)	商品コード	印刷可能ページ数
IPSiO SP トナーカートリッジ 3400	308571	約 2,500 ページ
IPSiO SP トナーカートリッジ 3400H	308572	約 5,000 ページ
商品名 (環境貢献トナー)	商品コード	印刷可能ページ数
IPSiO SP EC トナーカートリッジ 3400H	308722	約 5,000 ページ

補足

- トナーカートリッジの寿命は、A4 サイズ縦送りで、「ISO/IEC 19752」に準拠（約 5% 原稿）し、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合の参考値です。「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。
- トナーカートリッジの寿命は、トナーの残量およびカートリッジ部品の消耗度合いで決まります。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、セット方向、印刷内容、一度に印刷する枚数、環境条件によって異なります。トナーカートリッジは使用期間によっても劣化するため、上記目安より早く交換が必要になる場合があります。
- 消耗品は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

使用済みカートリッジの回収について

弊社では、環境保全を優先課題の一つとし、使用済み製品の回収・リサイクルを積極的に行っております。複数の回収方法を用意しておりますので、回収にご協力ください。なお、回収方法の詳細は下記のホームページをご覧ください。

<http://www.ricoh.co.jp/ecology/recycle/toner/index.html>

付録：どうしても解決しないとき

主なメッセージと対処策を確認して対処されても症状が改善されない場合、システム設定リストの印刷ができるかどうかお確かめください。

印刷ができたなら、お客様相談センターへご相談ください。印刷ができなかったら、販売店、最寄りのサービス実施店へご連絡ください。

システム設定リストは以下の手順で印刷できます。

❖ システム設定リストの印刷のしかた

- 1 [初期設定] キーを押します。
- 2 [▲] [▼] キーを押して [リスト/レポート印刷] を選び、[OK] キーを押します。
- 3 [▲] [▼] キーを押して [システム設定リスト] を選び、[OK] キーを押します。
- 4 [する] を押します。

システム設定リストの見かたについては、CD-ROM 収録の『操作ガイド<コピー/プリンター/スキャナー機能編>』③「システム設定リストの見かた」を参照してください。

お問い合わせ先

■消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

NetRICOHのホームページからもご購入できます。

<http://www.netricoh.com/>

■故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介します。

<http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.htm>

■操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター（ご購入後のお客様専用ダイヤル）」にお問い合わせください。

050-3786-8111

● 受付時間：平日（月～金）9時～12時、13時～17時
（土日、祝祭日、弊社休業日を除く）

● 050 ビジネスダイヤルは、一部のIP電話を除き、通話料はご利用者負担となります。

● お問い合わせの際に機番を確認させていただく場合があります。

上記番号をご利用いただけない方は、03-4330-0918をご利用ください。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html>

■最新ドライバーおよびユーティリティ情報

最新版のドライバーおよびユーティリティをインターネットのリコーホームページから入手できます。

<http://www.ricoh.co.jp/download/index.html>

■製品に関してよくあるご質問（FAQ）を Web サイトで公開しています。

<http://www.ricoh.co.jp/support/qa/quick.html>

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。

本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

■本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

本書の一部または全部を無断で複製、複製、改変、引用、転載することはできません。

IPSiO SP3510sf

クイックガイド

- 1 各部の紹介
- 2 コピーのかんたんな使いかた
- 3 スキャナーのかんたんな使いかた
- 4 ファクスのかんたんな使いかた
- 5 用紙をセットするとき
- 6 困ったときには
- 7 紙づまりを取り除く